

年 組 名前：

【ワシントン共同】米企業が開発した人工知能（AI）に米国の医師資格試験問題を解かせたところ、正解率は52〜75%で、合格ラインとされる60%前後に達したと米医療企業の研究チームが9日、科学誌「プロセス・デジタル・ヘルス」に発表した。医学関係の知識を追加したり学習方法を改善したりすれば、成績はさらに向上するとみている。

問題に挑戦したのは米オープンAIの「チャットGPT」。2021年までに作成されたインターネット上の膨大な文章から言葉の順序や選択を学習しており、22年に公表された例題350問を解いた。

米国の医師試験は①基礎科学②臨床医学③実践的知識の3段階に分かれ、生物学から倫理まで幅広い知識が問われる。今回は病気の診断や療養の方法などについて「答えを文章で記述する方式」「複数の選択肢から一つ選ぶ方式」「選択肢から選んで理由も答える方式」を用意し、AIの回答を分析した。

回答は医師3人が協議し「正解」「不正解」「判定不能」のいずれかとした。判定不能を除いて正解の割合を出すと、安定して50%を上回っていた。基礎科学の問題では判定不能が30%を超えており、チームは「苦手科目」としている。

A I ドクター誕生近い？ 米医師試験 合格ライン

(2023年2月10日付 山梨日日新聞 26面)

問1

米国の研究チームは、人工知能(AI)に米国の医師資格試験問題を解かせ、結果を発表しました。

その正解率を教えてください。

.....

問2

AIの成績をさらに向上させるには、何をすれば良いと話していますか。

.....

問3

米国の医師試験の分類された3段階を答え、その中で、AIの「苦手科目」に○を付けてください。

.....

問4

あなたは、「AIドクター」の誕生を、どのように考えますか。

.....

.....